

令和3年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく改善報告書

【歯学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和4年3月3日	令和3年度CHAmmit参加者のうち、学生2名・教員2名・職員1名から事前に意見収集を行いました。その内容を基に学務委員、歯学部FD委員会委員長、学生FD支援小委員会委員長、学生FD支援小委員会副委員長、教務課幹事が加わり計10名がZoomを使用して学部提案書について30分程度、実現に向けて意見交換を行い共有しました。

2 学部提案書の対応について

① 昨年度報告書の状況

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
・オンライン環境の整備、基準、提示、周知徹底について	○			ネットワーク不備は予期できない障害によるもので避けられないため、歯学部として対応できないこともあります。こうした予期できない（避けられない）障害が発生した場合には、柔軟に出席を受け付けるよう対応します。また、学生側のネットワーク不備については、何らかの方法で大学へ連絡するよう指導します。 その他学生が出席フォームの送信ができないなどの教員側のミスやスキル不足による不備に対しては、教員用遠隔授業ポータルサイトを立ち上げ、出席フォームの作成方法や種々のアプリケーションの利用方法を解説する動画を掲載するなどして、教員へ周知を行っており、昨年比去年に比べて確実に不備が減ってきています。
・シラバス、スケジュールの再構成	○			歯学部では、令和2年度シラバス策定後、新型コロナウイルス感染症が蔓延したため、急なシラバス記載内容の変更、学事日程の変更、定期試験の廃止等が発生しました。 しかし、令和3年度は初めから講義は遠隔主体、実習は対面で行うことを前提にシラバスを策定し、学事日程を作成しており、対応できています。また、学生が学外からいつでもどこでもシラバスやスケジュールを確認できる環境も整えています。
・時間割の共有について	○			令和2年度は、一部教員間において時間割の共有ができていないことがありましたが、令和3年度は、始めから対面授業と遠隔授業の日程を分けて学事日程やシラバスを策定しているため、教員同士も時間割を共有しており、対応できています。
・授業専用ソフトウェアの作成に関する取り組み			○	授業運営のソフトウェアやプラットフォームを学部独自に作成することは技術的にも難しいところもあります。 一方、教務・授業運営に関わる包括的なLMSを導入すれば、他項目で挙げられている出席管理、連絡、課題の提出、資料の配布方法も統一でき、学生にとってより快適な遠隔授業を運営が可能となると予測されます。今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、授業実施方法の変更も考えられますが、継続してLMS導入の検討は行っていく予定です。

令和3年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく改善報告書

【歯学部】

② 新たな課題

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
遠隔授業や学校への立ち入り制限等の関係で友人との対面によるコミュニケーションの機会が少なく、先輩や後輩の繋がりが作りにくい点		○		コロナ禍で未だ校舎への立ち入り制限等ありますが、令和4年度は対面授業やクラブ活動も増える予定であり、友人、先輩や後輩とのコミュニケーションの機会が増えると考えています。 また、学年代表者が中心になって積極的にZoomを利用して交流会を設け、多くの学生からのさまざまな意見を発信してほしいです。
低学年の対面授業が少ないため、大学の施設が利用できていません。そのため、大学が提供する施設等の利用(図書館など)に低学年と高学年で差があることについて		○		カリキュラム上、上級学年になると実習が増えており、大学の施設を利用する機会が増えてきます。 また、Zoomを利用した授業は全て録画されることから、いつでも授業内容が復習できるため試験勉強に活用できるといったメリットもあります。 歯学部は令和4年4月から新校舎での授業が開始され新しい環境で学ぶことができます。そして、今後は学年番号によって登校を分散させる等の方策を検討してコロナ禍での対面授業・実習の機会を設け、不利益のないよう授業環境を整えていきます。

③ 「IT化と大学教育」へ向けての提案について

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
Zoom等のシステムを利用して友人とのコミュニケーションの機会を提供する		○		昨今コロナ禍の影響で、学生生活における各種イベントが中止になっておりますが、クラブのオンラインミーティングの開催、先生・学生とのZoom会議を企画したりできる環境は整っています。また、学生にZoomアカウントを付与しているので、自ら企画を立案して友人とのコミュニケーション作りにつなげてほしいです。
授業資料の配布及び課題提出の統一		○		授業を行う講座によって課題の提出や出欠の取り方等、対応が異なり学生には不便や混乱を招いている点もありますが、今後は全ての授業で統一するための指針を明確に設けていきます。 今後も、学務委員会で改善が必要な事例がないか常に精査し、情報を共有しあい改善に努めていきます。

※①～③については、令和4年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。

3 歯学部から学生へのメッセージ

歯学部では、学生からの意見を基に授業のスムーズな提供に努めていき、改善できていない点があれば検討していきます。
